

おかげさまで任期が終了します。

いつも日本食品保健指導士会の運営にご協力を頂き、誠にありがとうございます。
現役員の運営となり、皆様のおかげでなんとか1期2年が終了しました。この2年間、初めて経験する事など様々なことがあり、指導士会会員の皆様・役員の皆様に助けて頂き感謝申し上げます。

会長職就任1年目は、新型コロナウイルス感染症の位置づけが「5類感染症」となり、今までオンラインで実施をしていました日本食品保健指導士会の総会を久々に現地開催し、皆様に直接お会いしお話ができた事がつい最近と思うくらいこの2年間の月日が早く感じられます。ちょうど一昨年は日本食品保健指導士会発足20年と重なり、時期は秋口になってしまいましたが、20周年記念も東京の如水会館にて開催ができました。



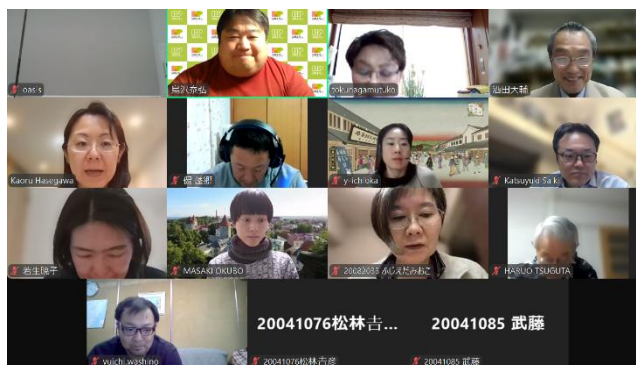
また昨年は小林製薬さんの紅麹の件があり、公益財団法人日本健康・栄養食品協会(以下「日健栄協」)さんからも国会で審議された「機能性表示食品を巡る検討会」等の資料作成の依頼などもあり、今後の健康食品のあり方についても考えさせられる時間でした。この「機能性表示食品を巡る検討会」では、アドバイザースタッフ制度の活用について日健栄協さんからも検討会にてご提案を

して頂いていましたが、最終的にはあまり表舞台に立つ事はなかったというのが私の感想ですが、アドバイザースタッフ制度について、食品保健指導士は厚生労働省のHPにも掲載がある通り認めていただいている資格ですので、「誰かが」ではなく、我々一人一人が知名度を上げて行く活動が必要であるのではないかと思います。その為、今後も食育フェアな

どの啓蒙活動を続けて活動していきたいと思っています。会員の皆様個々のアピールもよろしくお願いします。また今後、日本食品保健指導士会は指導士同士の横のつながりを大切にしていきたいと思っています。

引き続き、日本食品保健指導士会の活動にご協力の程、よろしくお願いします。

(報告者:鳥沢泰弘)



各支部活動報告

① 九州支部活動報告(日健栄協委託事業報告)

2025年2月16日(日)福岡市東区パピオン24にて九州大学大学院農学研究院食品免疫機能分析学講座の宮崎義之先生を講師としてお迎えし、「免疫機能維持・向上にはたらく食品成分」について講演頂きました。2月という季節柄、免疫に対する関心が高く、現地参加者:13名、ZOOM参加者:21名、合計:34名の方々が参加されました。



セミナーは、免疫機能を賦活作用する食品の紹介から、免疫機能仕組み、先月機能性表示成分となったパラミロンの紹介、免疫力を高めるだけでなく免疫暴走を抑える必要とそのバランスについて、免疫力のバランスを整えるのに効果的な食物としてフコイダンの紹介など、免疫について詳しくない私達にも分かりやすい内容でした。また、免疫力の維持や向上に働きかける食材は多々あるが、効果を求める量となると食物だけでは難しく、サプリメントを活用する事が効果的というのも印象深いものでした。

質疑応答では、現地参加者だけでなくZOOM参加者からも質問があり、受講者の関心度の高さと当セミナーへの理解度の深さが伺えました。九州支部では、お時間がある時に一緒に活動をして頂ける方を募集しております。展示会などでの食品保健指導士の啓蒙活動をはじめ、5月には西日本創造展示会、7月に委託事業研修会、11月には福岡市民糖尿病教室に参加しますので都合が合う方は是非ご連絡ください。

九州支部メールアドレス jfqaokyushu@gmail.com



② アピ株式会社様ネクストステージ工場見学会報告

2025年3月10日(月)アピ株式会社様全面協力のもと、最新設備の岐阜県揖斐川のネクストステージ工場見学会と、「GMP」勉強会を実施しました。現地までお車で直接お越しの方もいらっしゃいましたが、今回も東海地区以外のご参加の方も多く、当日は、最寄駅から工場までの距離がある為、東海支部鷲野会計責任者、鳥沢会長に行き帰りの送迎をして頂きました。



アピ株式会社様は、明治40年(1907年)に養蜂器具の製造や販売をからスタートし創業100年を超える会社です。ハチミツ、ローヤルゼリー、プロポリスなどの蜂産品や原料加工を主とする本巢工場、健康食品のOEMを担う池田工場、ネクストステージ工場を構え、メーカーとしてあらゆるニーズに応えています。

各工場では、健康補助食品GMP、JHFA、FSSC22000などの認証を取得し品質保証体制を確立しています。また、医薬品製造の受託事業にも展開し、健康補助食品とともに人々の健康に大きく貢献しています。

今回の工場見学は、最新工場であるネクストステージ工場を見学させて頂きました。工場は、6階建てで各フロアが独立しており、さまざまな剤型を製造することができる構造となっていました。工場内部のミニリトルペット充填・包装ライン、粉体充填・包装ライン、ソフトカプセル製造ライン、ハラル対応ラインについて、各責任者の方々に丁寧に説明頂き、健康食品ができるまで厳格な管理がされていることを実感いたしました。

すべてのラインにおいて、整理整頓され5Sの徹底、作業者は繋ぎの無人服を着用し衛生管理が徹底されておりました。また段ボール等の梱包作業は区画され異物混入対策がなされていて、こういった徹底管理のもと顧客からの信頼を得られているものと思いました。

工場見学のあとは、健康食品GMPについて勉強会があり、GMPとはGood Manufacturing Practiceの略で、健康補助食品の製造に係わる製造管理と品質管理について、管理方法の指針を定めその指針に沿って一工程一工程を丁寧に確認しながら、製造する製造管理手法です。このGMP管理基準によって健康補助食品を製造されていました。

認定の対象となった剤形は、錠剤、ソフトカプセル・ハードカプセル・顆粒・粉末・飲料の6種類の製造工程で健康補助食品として一般的に流通している製品はほとんど含まれ、紅麴問題を発端に機能性表示食品ではGMPによる製造が要件化され、より安心安全

な食品が消費者に届くための制度作りが進んでいます。また今後は機能性表示食品にとどまらず、より厳しい管理のもとでの製造が求められるようになっていく事と思われます。GMPという言葉は知っているけれど、あまり深く考えたことが無かった方にとっても、今回その内容について細かく・深く勉強できる良い機会となりました。

指導士の皆さんの日々の活動、今後のお仕事等にも活かせる内容だったのではないかと思います。当日は、遠方よりご参加いただいた会員の方もいらっしゃり、工場見学と共にこうした一連の指導士ならではの特別研修としてご講義いただき、充実した見学会となりました。
(報告者:西村英剛東海支部副支部長)

③本部活動報告(日健栄協委託事業報告)

2025年1月18日(土)大阪・西中島南方、NLC 新大阪8号館にて、公財)日本健康・栄養食品協会青山常務より、「健康食品業界の信頼回復と発展を目指して」と題しまして研修会を実施しました。

今年度より年に一度本部主催の研修会を地方にて実施して、対面での研修会に皆様に参加して頂きたいと青山常務に大阪まで出向いていただきました。研修会は現地参加者6名、オンライン参加者30名での開催となりました。



今回は、2024年1月に医師から健康被害が報告され始まった「紅麹」事案。製薬会社の対応の問題点、原因物質に関する情報、「機能性表示食品を巡る検討会」の情報と日本健康・栄養食品協会(日健栄協)の取り組みが説明されました。検討会で日健栄協は3つの提言を出しています。①健康被害においては事業者が判断できるようなガイドラインが必要②

GMP 製造管理においては原材料製造も GMP による管理を推奨すべき③安全性(原材料)では何らかのルール化が必要。また、日健栄協としての取り組みでは健康被害情報の相談窓口を設置、健康食品 GMP の認定取得推進や安全性評価フローチャートの普及、機能性表示食品制度の健全な発展を目指し届け出業者・会員企業のサポートの充実を行うとの事でした。

最後に、健康食品のあるべき姿として日健栄協の考える体系図を示され、いわゆる健康食品に、GMP/SAFETY/JHFA 認証で安全性・製品品質を確保し(第三者認証)、機能性表示食品/特定保健用食品/疾病リスク低減トクホで科学的根拠をもとに機能を表示して消費者に伝える(健康機能表示制度)健康食品のあるべき姿を非常にわかりやすく説明して頂きました。

健康食品業界の信頼回復に必要なこととしては、安全性が見える化して確保すること、消費者に対し分かりやすい制度とすること、事業者へのサポートを挙げられました。以上のように、私たちの母体である日健栄協の取り組みを知ることができて、食品保健指導士として活動のサプリメントを得られた研修会でした。

情報交換会では、青山常務のどの教科書にも乗っていない人生経験を聞かせていただきました。映画の世界のようなお話もありもっと深く聞いてみたいと思うことばかりでした。参加された会員とも和やかな雰囲気の中、指導士会の活動を盛り上げていきたいという同じ思いを持てたことは今後の活動の励みとなりました。(報告者:中林 厚子幹事)

④本部活動報告(東京都食育フェア参加報告)

2024年11月9日(土)・10日(日)第16回東京都食育フェアにて、日本食品保健指導士会では、NO.53ブースにて、『健康食品の正しい使い方・選び方』題しまして、一般消費者の方々に特定保健用食品・栄養機能食品・機能性表示食品・健康食品についての説明・啓蒙活動を行わせていただきました。お手伝いいただきました指導士は、私含め役員5名、指導士会会員の指導士7名、計12名で、東海支部にて作成しました「健康食品を安全に使いこなそう」というパネルを使い、15分程度のセミナーを実施しました。ご参加いただいた方には、今回ご協賛いただきました試食サンプルを一式にまとめさせていただきます配布いたしました。(報告者:鳥沢 泰弘)

健康食品を安全に使いこなそう



公益財団法人 日本健康・栄養食品協会認定
食品保健指導士



あとかぎ

ここ最近、一年一年が本当に早く感じる年になりました。

この2年を振り返ると、何とか、コロナ前の指導士会の活動とほぼ同じレベルに戻れたのではないかと考えていますが、オンラインが定着し、研修会も今一つ盛り上げにける気がしています。また、講師の先生方も、顔が見えないと、理解して頂けているのかがわからず、一方的な話になってしまっていると良くお話を伺います。

今後、研修会等は現地開催を増やし、情報交換の場を増やしていければと思っています。コロナ禍でオンラインが定着しつつありますが、食品保健指導士は様々な業種の方々がいらっしゃいますので、機会がありましたら是非現地での研修会や啓蒙活動にもご参加いただければと思います。

今後の決まっている予定としまして、

5月17日(土)…日本食品保健指導士会総会・記念講話(日健栄協、ZOOM)

7月 5日(土)…東海支部研修会(ウインクあいち、ZOOM)

7月中旬～下旬…九州支部研修会

8月 9日(土)…本部主催研修会(仙台・仙都会館、ZOOM)

9月24日(水)…KKC ウェルネス名古屋健診クリニック(啓蒙活動)

11月8日(土)・9日(日)…東京都食育フェア(啓蒙活動)

11月…ふくおか市民糖尿病教室(啓蒙活動)

を予定しています。

昨年度から新たな試みで、本部研修会を必ず1回は地方開催を実施したいと思っています。今年度はちょうどお盆休みになってしまいますが仙台で開催します。東北へ帰省される方、東北地区にお住いの方でご都合が合いましたら是非ご参加ください。

引き続きよろしく申し上げます。

会長 鳥沢 泰弘

